

# 財政状況等一覧表（平成20年度決算）

決算書から 健全化総括 (単位:百万円)

団体名 宝達志水町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
2,072	2,690	251	5,013

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	7,296	7,204	92	52	0	13,541	
ケーブルテレビ事業特別会計	62	62	0	0	24	0	
一般会計等	7,296	7,204	40	52		13,541	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	1,556	1,555	1	1	90	0		
国民健康保険特別会計(直診勘定)	52	52	0	0	7	81		
介護保険特別会計	1,343	1,290	54	54	197	0		
老人保健特別会計	212	212	0	0	14	0		
後期高齢者医療特別会計	160	160	0	0	3	0		
水道事業会計	302	353	51	438	20	1,998	170	法適用企業
下水道事業会計	595	637	42	204	509	9,478	8,275	法適用企業
国民健康保険志雄病院事業会計	1,170	1,132	38	594	116	414	290	法適用企業(財務のみ)
公営企業会計等 計								

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。  
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数( - )で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
羽咋都市広域圏事務組合(一般会計)	2,818	2,811	7	7	76	3,193	714	
〃(ふるさと振興事業特別会計)	10	10	0	0	0	0	0	
〃(公立羽咋病院事業会計)	2,943	2,940	3	1	0	1,476	118	法適用企業(財務のみ)
石川県市町村職員退職手当組合	5,360	5,356	4	4	890	0	0	
石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合	167	165	2	2	0	0	0	
石川県市町村消防償いつづ金組合	6	1	5	5	0	0	0	
石川県市町村議会議員公務災害補償組合	3	2	2	2	0	0	0	
子浦川水防事務組合	0	0	0	0	0	0	0	
石川県後期高齢者医療広域連合	515	505	10	10	5	0	0	
一部事務組合等 計								

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る債務残高	当該団体からの 損失補償に係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
宝達志水町土地開発公社	13	87	10	0	0	1,462	0	499	
地方公社・第三セクター等 計			10	0	0	1,462	0	499	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	359	398	39
減債基金	0	0	0
その他充当可能基金	392	436	44
充当可能基金 計	751	834	83

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	1.50	1.03	0.47	14.99	20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	23.24	26.77	3.53	19.99	40.00	下水道事業会計	-	-	-
実質公債費比率	18.7	20.2	1.50	25.0	35.0	国民健康保険志雄病院特別会計	-	-	-
将来負担比率	293.6	281.5	12.1	350.0					
財政力指数	0.422	0.419	0.003						
経常収支比率	99.7	97.8	1.9						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数( - )で表示している。  
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。  
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。